



杉並区基本構想 自治体の責務は明記されず…



基本構想特別委員会にて
質疑を行ないました。

住民への責任転嫁は許されない 自治体の責務が問われる

三月五・六日の二日間、杉並区基本構想特別委員会が開かれ、質疑に立ちました。基本構想とは、今後十年間の杉並区の骨格となる方針を定めるものです。行政の責任や役割をしっかりと明記すると共に、住民の実態を正確に掴んだ内容にしなければなりません。

しかし、今回の構想は、行政の責務が明確に記述されていません。一方、住民同士の協働や支え合いの文言は多用されています。

住民の協働は、民主的な行政運営を進める上では、必要不可欠なことです。しかし、本来は行政の責務が果たされた上で、住民の協働があるべきです。

質疑で、行政の責任が不明確であることを指摘すると、「行政の責任は大前提である」との答弁が行なわれました。

行政の責任を認めたことは重要な点ですが、方針となる文書に明記しないことは、説明が付きません。

個別施策にも問題が…

- ・幼保一体化を明確に記述
保護者や保育・幼稚園の現場から「拙速な進め方をするべきではない」と、大きな問題になっている幼稚園・保育園の一体化を進めようとしています。
- ・荻窪駅周辺整備
パブリックコメントなどでも「具体的な開発案件を明記すべきではない」などの声が多数寄せられているのにも関わらず、荻窪駅周辺整備が位置付けられています。乱開発を防止していく必要があります。
- ・小中一貫教育
様々な問題や批判が寄せられている小中一貫教育を無反省に進めようとしています。
- ・区立施設の再編整備
児童館や小中学校など、地域になくてはならない区立施設の統廃合が進められる危険があります。財政削減の名目で、区民サービスを後退させる事は許されません。

今後10年の施策後退の危険も

福祉施策は、曖昧な記述が目立ちます。基本構想が住民の切実な実態をリアルに伝えていないため、緊急に対応が必要な施策もぼやけています。「一九〇〇人を超える特養ホーム待機者」「認可保育園に入れないう一五〇人近い児童」など、深刻な実態を抱える区民の生活を「どのように守るか」の記述があまりにも少な過ぎます。

緊急性の高い福祉施策については、より具体的に位置付ける必要があります。

個別の施策についても問題のある記述が多く見られます。住民合意の無い様々な施策については、十年間の方針文書に記載することは慎むべきです（詳細は右表）。

基本構想は、区民の生活実態を正確に把握し、方針の柱には、行政の責務をしっかりと位置付ける必要があります。

杉並区役所地下3階 放射能汚染シートの保管場所を調査

学校敷地内の汚染シート すみやかな撤去・管理が必要

堀ノ内小学校の芝生養生シートから高濃度の放射線量が検出されたことを受け、杉並区役所地下三階に汚染シートを管理するための保管庫が設置されました。

三月二日(金)党杉並区議団で、現地を調査しました。保管庫は区役所地下三階の一室にあり、施錠され、立ち入りが出来ないようになっていきます。中には、鉛で覆われた保管庫が二つあり、その内の一つに堀ノ内小の汚染シートが保管されていました。

区議団の測定器で計測してみると、保管庫の外側は、毎時0.1マイクロシーベルト以下でした。保管庫の内側では、毎時3.49マイクロシーベルトという高い放射線量を計測しました。これまでの杉並区内の測定では、計測したことの無い「高い」数値です。

国の責任で対応を

汚染シートは学校敷地内から直ちに撤去する必要があります。先日の保健福祉委員会の質疑では、他の学校の倉庫に保管されている汚染シートも、順次、撤去するとの答弁がされました。

今回、一時的に、区行政が汚染シートの管理に責任を持って対応していることは評価できます。しかし、放射能汚染物については、国の責任で処理をすることが必要です。国の責任ある対応を求めていきます。



3.49 μSv/時を計測 (上)
鉛で覆われた保管庫 (右)



今週の一こま

議会中は子どもとの時間もお預け…

一年間の議会の中でも、もっとも激しい議会が、現在、行なわれている「第一回定例会」(通称・予算議会)です。来年度の予算を審議する非常に重要な議会であり、様々な分野で、激しい質疑が行なわれます。

私も福祉分野を担当し、それぞれの施策の拡充などを求めるのですが、守備範囲も広く、調査項目も多岐に亘ります。どの分野も重要なので、連日、ほぼ徹夜で調査活動に取り組むことにもなります。

当然、子どもと過ごす時間は無くなり、毎日、寝ている姿しか拝むことが出来ません。寂しい…。でも、子どもたちの未来のためにも頑張らねば!

ただ、議会中は激しいスケジュールで、自然にダイエットもはかれるので、その点は、ありがたいですね。最後まで、気を抜かずに頑張ります!



仲良しの従兄弟に絵本を
読んでもらい大満足の息子
握っています。

消防団 操法大会選手に

大会に向け訓練開始 全力で頑張ります!

六月に行なわれる荻窪消防団操法大会選手に選ばれました。放水を担当する一員です。私の所属する第三分団は、昨年の操法大会で優勝した分団でもあり、責任重大です。

現在、夜間の訓練が始まっています。私は新人ですので、足を引つ張らないように自主練も始めました。朝晩に近所の公園をウロウロしていますので、見かけたら声をおかけください。

地域防災の要となるのが消防団です。大規模な震災が危惧されるなか、消防団の役割が、さらに重要になっていきます。

地域の安全・安心を守りたい方は、ぜひ消防団に入団を。ご一緒に地域を守りましょう!



井草八幡宮での訓練の様子
先輩の指導を受け、ホースを
握っています。